



平泉小学校

☎46-2202



長島小学校

☎46-2203



平泉中学校

☎46-2205

## 絆を深め、伝統を引き継ぎました

2月18日に6送会が行われました。今年も歌やダンス、卒業認定クイズ? 等々各学年が工夫を凝らし、お世話になった6年生に心を込めたステージ発表をプレゼントしました。

中でも圧巻だったのは4年生の発表でした。来年度の運動会で初めて挑戦する組み体操を表現に取り入れ、高度な技を次々と披露してくれました。これには6年生も拍手喝采でした。マーチングバンドの引き継ぎでも、見事な演奏を披露してくれた4、5年生。最後はくす玉と巨大なメッセ



運動会が楽しみになりました



心を込めたメッセージの数々にも感動!

ージで感謝の気持ちを伝えることができました。6年生は、目下恩返しキャンペーンを実施中です。卒業式を目前にして感謝の気持ちを具体的に行動で示し、平小生としての誇りをより確かなものとして中学校に進もうとしています。今年の6送会も、子どもたちの確かな成長と無限の可能性を示した素晴らしいものとなりました。保護者の方々にもたくさんご観覧いただきまして、1年間のご支援に改めて感謝いたします。

## 吉野雅之さん初優勝!! 県民体育大会スキー競技



県民大会初優勝を喜ぶ吉野さん

からは、東稲山や奥州市胆沢などの林道で自前のコースを作り、仲間と練習を積み重ねました。

第66回県民体育大会スキー競技会(岩手県等主催)が1月17日から19日、八幡平市の田山クロスカントリーコースなどで開催され、クロスカントリー種目3キロラシカルの成年男子Jで吉野雅之さん(11区)が初優勝の栄冠に輝きました。

クロスカントリーのクラシカルとは、スキー板を平行にして交互に前に滑らす走法で、ものすごく体力が求められます。

吉野さんは、ランニングや近隣のマラソン大会に出場し体力づくりをしてきました。また冬期間に入って

ある先頭選手を追い抜き、2位に9.3秒差をつけゴールし、見事優勝を果たしました。

2月16日には北海道美瑛町で開催された、第37回宮様国際スキーマラソン大会の38キロコースに出場した吉野さん。3時間1分台のタイムで、約280人中111位でしたが、丘のまちなみ

の自然と親しみました。吉野さんは今後に向け、「楽しむことを第一に、クロスカントリースキーや、山登りなどを通じて自然とふ

れたい。」と話していました。

## かぜに負けない2月

2月18日(火)児童会計画委員会と体育委員会が協力した「長なわとび大会」が開催されました。(平泉ファン動画掲載)

縦割り班で行われるこの大会は、「体力の向上」はもとより「互いに励まし合い協力する態度」の育成をねらいとしています。いよいよ当日です。1年生や2年生の肩に手をあて入るタイミングを教えたり、腰をかかめ跳ぶ人の高さに合わせゆっく



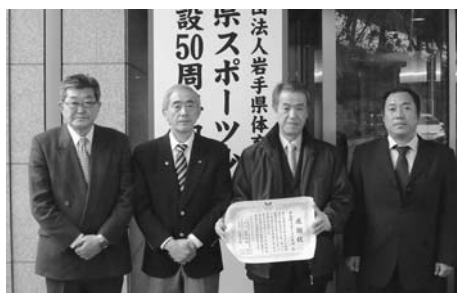
縦割り班で協力し、長なわとびに挑戦

またこの日は、長島小区教振協議会運営委員会を開き、今年のを開き、今年の実践を交流しました。委員からは「春より地域でのあいさつが立派になった」など地域での児童の様子も紹介されました。



教振協議会の様子

## 未来を担う子供のため スポ少活動で貢献



千葉本部長(右から2人目)ほか受賞を受けた関係者

岩手県スポーツ少年団の創設50周年記念式典が2月23日に盛岡市内で開催され、町スポーツ少年団本部長から千葉浩昌本部長ほか5人が参加しました。

同式典では、永年にわたりスポーツ少年団の充実、発展に功労のあった個人、団体に対し表彰などが授与されました。当町の受賞者等は次の通りです。(敬称略)

- ◎功労者 菊地俊郎(平泉柔道スポ少・7区)
- ◎優秀団員 スポ少平泉クラブ、平泉バレーボールスポ少、長島野球スポ少、長島バレーボールスポ少、平泉柔道スポ少
- ◎感謝状 平泉町スポーツ少年団

## 特別授業「能」の体験

2月3日、喜多流能楽師の佐々木多門さんから「能」について授業をしていただき、3年生69人が伝統芸能を体験しました。「目の前で見た能は、動き一つ一つに美しき、声にはメリハリがあり能のすばらしさを実感しました。テレビで見えていたCMで新能を舞っていたのが多門先生と知り、大変驚きました」(3年、千葉獎平さん)



多門先生から直接指導を受ける

「能で使う面をつけさせてもらいました。穴が小さいのですごく視野が狭くなり、これをつけて演技をするのは非常に難しいことだと思いました。初めて見た多門先生の舞

いは動きが軽やかで周りの風景と一緒に変わるような感じがしました」(3年、佐々木功喜さん) 「以前に、音楽の授業で能を鑑賞したとき、謡は昔の言葉や、独特の発音に聞こえて、とても難しそうだと思っていました。多門先生から謡を教えていただき、繰り返し練習したので、一部分ですが覚えて謡うことができました。楽しかったです。今日の体験を通して、日本の伝統芸能である能にとっても興味がありました」(3年、千葉聖也さん) 日本を代表する能楽師の多門先生のお話と舞いに生徒たちは感銘を受けていました。



装束を身に付ける生徒

## スポーツ安全保険に加入しませんか?

スポーツ中にはけが以外にも、人や物へ損害を与えるという事態も考えられます。組織で保険に加入し、万が一の場合のトラブルを防ぐことも安全対策の一つといえます。

スポーツ団体の多くが利用している保険の一つに、公益財団法人スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」があります。全国の約1,000万人が加入している保険で、少年団に限らず、アマチュアのスポーツ活動、子ども会、文化活動、ボランティア活動を行う団体も加入できます。

団体の構成員が5人以上であれば加入でき「傷害保険」と「賠償責任保険」を一括契約できます。

一人当たり年額800円からの比較的安価な掛け金で加入でき、十分な保障を得られる保険です。

詳しくは、教育委員会に資料、パンフレットがありますのでお問い合わせください。

◎問い合わせ先...公益財団法人スポーツ安全協会 岩手支部 ☎019-648-0400